

(書式1)【候補者用】

① 立候補者の 姓名と所属	水野 敏明 (みずの としあき) 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 総合解析部門
② 立候補の理由と 抱負 (400 字程度)	<p>現在、私は行政研究機関において、生態系のリスクという科学的不確実性が高い事象に関して「政策提言」を出していかなければならない中で研究をしています。そのため、日々の業務において、日本リスク研究学会の学会誌や大会で得られた、「不確実性の取り扱い方」、「リスクコミュニケーション」など、「政策科学」の技術として「リスク学」の知見を現場で役立たせています。</p> <p>私のように、行政等に関わる諸機関で、「政策科学」の技術として「リスク学」の知見を現場で役立てるというニーズは、学会会員だけでなく社会的にも今後ますます増えていくと思います。今回は、そうした同じ思いをもつ学会会員の皆様を支えたいと思い、日本リスク研究学会の理事に立候補いたしました。</p> <p>もし理事になりました際には『「政策科学」の技術として「リスク学」を現場で役立て応用する』視点を大切にする学会の方向性や展開に関して寄与していきたいと考えています。</p>
③ 本学会における 活動歴	<p>2012年 2-5月 日本リスク研究学会 選挙管理委員</p> <p>2012年 11月～現在 日本リスク研究学会誌 編集委員</p> <p>2012年 2-5月 日本リスク研究学会 選挙管理委員</p> <p>2017年 10月 第30回日本リスク研究学会年次大会 大会実行委員</p>
④ 研究歴・職歴等 (100 字以内)	<p>2002-2012 WWF ジャパン 職員</p> <p>2004-2011 滋賀県立琵琶湖博物館 特別研究員</p> <p>2011-2017 滋賀大学リスク研究センター 客員研究員</p> <p>2012-現在 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 主任研究員</p> <p>2014-現在 静岡大学大学院 客員教授 (リスクマネジメント概論)</p>

(書式2)【推薦者用】

① 推薦する候補者名	水野 敏明
② 推薦者の 姓名と所属	前田 恭伸 静岡大学大学院工学領域事業開発マネジメント系列
③ 推薦理由 (400 字程度)	<p>水野先生は社会工学を出発点としてリスク研究を始められ、WWF や滋賀県環境科学研究センターで生態リスク研究や政策実装に携わってこられました。自治体の運営する研究組織で生態リスクを研究するなかで、生態学から、数理モデルのような工学的アプローチ、経済学、社会調査等の幅広くかつ深い知識を駆使してリスク学にアプローチされています。まさに池田三郎元会長の提唱されていた「政策科学としてのリスク学」を実践されています。水野先生の持たれているリスク学の幅広い視点は、この学会の運営に必須のものと言えるでしょう。以上のような理由から水野敏明先生を本学会の理事として推薦いたします。</p>